



デイケアがじゅまる メンバー
「ドライブ in 古田河津桜」の様子です。

CONTENTS

- 02 理事長・院長あいさつ、朝礼訓示
- 03 医局だより
- 04 事務部だより、リモート面会システム
- 05 デイケアがじゅまるニュース
- 06 ～作業療法だより～
- 07 芸術作品コーナー・お知らせ等

理事長・院長あいさつ

『広報誌をご覧の皆様へ』

わたしたちのせいざん病院は、種子島唯一の精神科病院として、医療法人種子島会有馬病院のあとを受け継いで船出いたしました。有馬病院から引き継いで19年、住吉に移転してから8年が経過致しました。

地域に根ざし信頼される病院、温もりと思いやりのある医療を提供する病院、医療の質を高めお互いに学び合える病院を基本方針として運営して参りましたが、まだまだ道半ばの思いもあります。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、患者様やご家族、関係者の皆様には大変ご不便な思いをされていると思います。私共医療関係者は各関係機関と連携を図り、日々学びながら邁進してまいりますので、このせいざん病院を温かく見守っていただければ幸いです。

今年度もよろしくお願いいたします。



医療法人 純青会 せいざん病院
理事長・院長 田上容正

朝礼訓示

私は今、85才ですが、私と同じ年齢の是枝律子さんという大阪に住んでおられる看護師さんの手記を読みました。結婚し、子供にも恵まれ、とても幸せな生活を送っておられましたが、突然、御主人と子供さんを亡くされたのです。その時は、涙は止まることなく、言葉では表現できず、夢遊病者のようにふらふらとさ迷い精神科にも通院されたそうです。40才後半のことでしたが、この重い気持ちから抜け出すために休日を利用し、大阪の釜ヶ崎に向いました。ホームレスの人々が路上で生活していましたから、そこで炊き出しをやり、夜中に毛布を配るなどのボランティア活動に没頭されました。或る日、古本屋で「マザーテレサのあふれる愛」という本に出会い、一般の書店なら280円でしたが20円で購入されたということです。マザーテレサの生き方に衝撃をうけ、テレサの生前、10年間に日本とインドの間を50往復し、人間に対する愛に目覚め、第2の人生を豊かに有意義に送って居られるようです。一度お会いし、どのような老後を送って居られるのか知りたいものだ、私は思っています。今から72年前、私も是枝さんも小学4年生で終戦を迎えましたが、是枝さんは、お父さんの仕事の関係で台湾に住んで居られました。突然、事情はがらりと変わり、父、母、弟、妹の一家は難民生活となり、1日1食か2食で路上で物乞いも経験されたのです。5か月後、やっと日本に帰れることになり、引き揚げ船に乗るため家族で並んでいるところに黒衣の外国人がやって来ました。父の知り合いの方だったのでしょうか、野球ボールの大きさの石鹸を2個下さり、また自分の履いていたゴム草履を脱いで父に与え、自分は裸足で帰って行かれたのです。引き揚げ船は、父の故郷である長崎に着きましたが、当時の長崎は、原爆投下のあとで惨々たる状況でした。食うや食わずの生活で、いただいたゴム草履を10円で売り、1ヶ月生活できました。そして更に驚いたことに、黒衣の外国人が呉れた石鹸の中に小さくたたみ込んだ日本円が入っていたのです。その夜、父は粗末なお盆の上にお金をひろげて号泣しました。「このことを決して忘れるのではない、律子。人の痛みをわかる大人になるんだよ」と父は云い家族全員で止めどもなく涙を流しました。このことが、是枝さんの心に焼きつき、一生を導いて呉れたのです。今、日本と中国の関係がおかしい、ロシアと日本の関係もおかしい、いつ戦争が起こるかも解りません。コロナは世界中を襲い続けていきます。第4波がすぐそこにやってきました。私達の周囲でも富める人と貧しい人の差が大きくなり、仕事を失ったり、会社が倒産したり、苦しんでいる人がどんどん増えています。どんな中でも私達は、私達の身近にある困った人、貧しい人にやさしくしてあげ、病気で苦しんでいる人のために、私達に出来るだけのやさしい言葉をかけ、労ってあげなければならないと思います。今度の土、日は、2回目のコロナワクチンの接種です。少し痛いけど頑張ってお受けしましょう。今度も何卒よろしく願います。一緒に頑張りましょう。

医学と福音 2021年2月号より参照

令和3年4月7日
医療法人 純青会 せいざん病院 理事長 田上容正

～医局だより～ ごあいさつ

◆治療・療養の環境を守る為に！

当院は長年の閉鎖的で狭い病院から、H25年春に郊外の広々として緑豊かで自由な空間・雰囲気に恵まれた現在の地に移転した所です。晴天の日には、眼前には（南から）屋久島や口永良部島、薩摩硫黄島、竹島や馬毛島そして開間岳、大隅半島まで遠望でき、ここはちょっとした瀬戸内海？静かの海であると実感でき、本当に心が晴れ晴れとなります。

認知症関連の高齢者の方達が当院で入院されており、また種子島全体で20余りの中小の高齢者施設、グループホームがあり、多くの方々も通院されています。また、狭義の精神疾患である統合失調症やうつ病関連の方々も治療を受けております。

さらに知的障がいや自閉性障がいをもつ児童、成人の皆さんの施設、作業所、グループホームも種子島だけでも10数か所あります。併せて、おそらく2.3千人以上の認知症の高齢者や障害児・者の皆さんが療養やリハビリ、人生の余生の日々をより人間らしく、尊厳を保たれる形で送ってられるのです。島のおよそ半分以上の方たちは、当事者やご家族・支援者であると思うのです。

この島の奇跡的な静かさは私たちの最大の味方であり、世界中の誰もが訪れても、心を穏やかにしてくれる「経済的価値につけられない」プライスレスな環境資源です。屋久島で後半生をおくった詩人山尾三省も「静かさについて」の詩の中で「この世でいちばん大切なものは 静かさ である」と書いています。

高齢者のせん妄という意識障害の状態では、戦争中の恐怖体験、例えば爆撃を受けたり空襲警報の体験がしばしば現れますし、自閉性障がいの方では、些細な聴覚・視覚刺激でも大恐慌・情動不安定や自傷行為などが出現します。

馬毛島で計画されている基地建設や軍事訓練が、当事者、ご家族などの心身を無用に刺激して、リハビリ活動や束の間の安息や健康を揺るがしかねない事を心底憂慮しております。



医療法人 純青会 せいざん病院
副院長 濱田博文

◆ご挨拶

2019年4月から毎週金曜日にせいざん病院で診療をさせていただいております。鹿児島大学病院神経科精神科の崎元仁志と申します。普段は鹿児島大学病院で、副病棟医長、認知症ケアチーム医師として勤めております。

少し私の経歴について語らせて頂きますが、平成21年に聖マリアンナ医科大学を卒業し、2年間は同大学の卒後臨床研修プログラムで研修を行い、平成23年に鹿児島大学の神経科精神科に入局をしております。精神科の医師を目指したきっかけとしては、「世の中には体は生きているが、心が死んでいる者がいる。反対に、体が滅んでも魂が残っている者もいる。心が死んでしまえば生きていても、仕方がない。魂が残っていれば、たとえ体が滅んでも意味がある」という吉田松陰の言葉に感銘を受け、人の死はどこからなのかということに対して、心が死んでしまっただけでは意味が無いということから精神科医を志しました。

入局してからとにかく忙しい毎日でありましたが、鹿児島と種子島での診療は大きく違い、せいざん病院での診療は一つの「癒し」となっております。少し聞き取りづらいこともありますが、患者さん一人一人がおおらかで、鹿児島では独居が不可能なレベルでの認知症患者さんが地域に支えられていることが多いです。逆に言うとなかなか問題が浮き彫りにならないため、できるだけ早期に解決ができないかと考え働いており、非常に充実した日々であります。最近になり、鹿児島大学病院で救急診療をした種子島の患者さんを自分の外来に連れてくることも多くなってきました。何らかの形で種子島の精神科医療に貢献できればと考えております。

乱文乱筆をお許しください。今後ともよろしく願いいたします。



鹿児島大学病院 神経科精神科
サキモト ヒトシ
崎元 仁志 医師

～事務部だより～

当法人の事務部門を紹介いたします。

事務長（関連施設責任者兼務）
上妻

総務・庶務（工務）課
職員の福利厚生、労務管理、
会議の運営、人事管理、契約・
購入関係等さまざまな業務を
行っています。そのうち庶務
（工務）部門は関連施設も含め
て、利用者様の送迎や営繕業務
全般を主に担っています。

医事課
院内の医療事務全般の業務を
担当しています。少人数で業務
を分担していますので、「よく
協議を行い効率よく処理する」
をモットーに日々励んでいます。
受付部門は「明るく寄り添
う」を常に基本において業務を
行っています。

楽しく働きやすい職場環境を
目指し、全員で業務にあたって
おりますので、今後ともよろし
くお願いいたします。



受付スタッフ



事務室スタッフ



工務室スタッフ

『リモート面会システム』のご案内

当院で昨年10月よりリモートでの面会
を始めております。

新型コロナウイルス感染症対策の一環
として導入されたこのシステムですが、
普段は島外から遠方で患者様と会えない
島内であつても中々患者様と会えないご
家族にご利用いただき、好評いただいで
おります。

これからも患者様とご家族、関係者様
がより良いご関係を構築出来るように運
営して参りますので、お気軽にお電話又
はメール（最終ページに記載）にてお申
し付け下さい。



デイケア がじゅまる ニュース



初詣 ~コロナ退散を願い~



節分 ~お面は手作り~



卓球大会 ~兄弟対決~



皮から手作り餃子



園芸部 ~メンバーだけで花の植え付け~

昨年度は新型コロナウイルスの影響から、いつもと違ったデイケアでした。そのような中でも皆で感染対策を行い、活動をしてきました。

新年度も活動に制限がある中ですが季節を感じられる行事、やりがいのある活動を行っていきます。

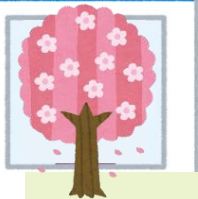
本年度も『デイケアがじゅまる』をよろしくお願いします。

新年度！

デイケア スタートです!!



探しています



ドライブ ~ 満開の桜 を求めて ~

毎年2~3月に活動「ドライブ（お花見）」があります。ただ、開花の時期が合わない、直前の悪天候で花が散ることが多いです(๑_๑)そこで今年は活動の回数を増やしたところ、2月10日 古田にて、満開の河津桜を見ることができました!! また、他の日も、あっぽ~らんどや種子島空港の散策などを楽しむことができました♪

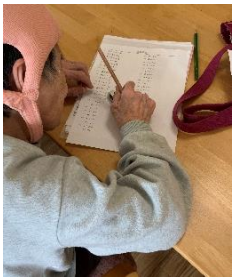


～作業療法だより～

作業療法では月～金まで午前・午後、主に病棟で活動をおこなっています。
活動にはいろいろな種目がありますが、ここでは余暇活動、体操、レクリエーションを紹介したいと思います。

<余暇活動>

塗り絵や音楽鑑賞などそれぞれ好みの作業を自分で選んで行います。



<体操>

ストレッチや棒体操、頭の体操など集団で行っています。

<レクリエーション>

大集団、小集団のレクリエーションがあります。みんなでゲームを楽しんでいます。



写真は「歌詞集めゲーム」です。4つに分割された童謡の歌詞カードをみんなで思い出しながら集めていきます。幼いころからなじみの歌はいくつになっても覚えているものですね。完成後はその歌を一緒に懐かしいと話しながら歌いました。

紅茶ケーキ

閉鎖の調理活動で作りました。作業の工程が少ないので、トマトツナパスタと一緒に作りました。「紅茶の香りがして、美味しい」と好評でした。コロナ禍のため、患者さん5名と少ない人数で作っています。



<材料> ホットケーキMIX (150g)、牛乳 (120cc)、紅茶ティーパック (2P)、卵(2個)、砂糖 (大さじ3)
紅茶の種類はなんでもいいですが、アールグレイだと香りがいいです。

<作り方>

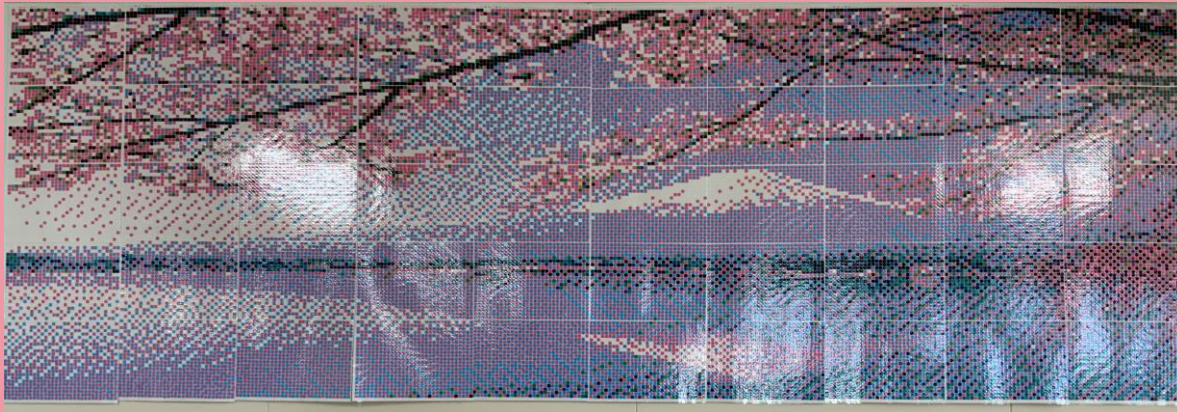
- ① ボールに牛乳・紅茶を入れて、1分半レンジにかける。
(紅茶のティーパックを破って、中身を入れます)
- ② 卵・砂糖を加えて混ぜる。
- ③ ホットケーキミックスを加えてよく混ぜる。
- ④ 型に入れ、ラップをしてレンジで4分加熱する。
(今回は、ダイソーのシリコン型を使用)
- ⑤ 出来上がり♡♡

お好みで生クリームを乗せると更に美味しいです。
ミルクティと一緒に飲んでもいいですね。



〔作業療法／デイケア〕
芸術作品コーナー

入院中の患者さんやデイケアのメンバーさんが芸術活動で作成した作品をご紹介します。



1 病棟
 「富士山とさくらのシール貼り絵」



2 病棟開放
 「ふなっしーとフクロウ達」



デイケア芸術作品
 「けずって作るスクラッチアートの世界」

- 《 広報委員会メンバー 》
- 濱田博文 (医局)
 - 清水美紀 (看護部長室)
 - 濱尾悦子 (1病棟)
 - 沖田キクヨ (1病棟)
 - 小川理恵 (2病棟)
 - 松下満子 (2病棟)
 - 池村多恵子 (地域連携室)
 - 浜田武 (デイケア室)
 - 後庵留美子 (栄養課)
 - 加藤志麻 (作業療法室)
 - 後藤麻貴 (作業療法室)
 - 奈尾純一 (事務所)
 - 浮田愛子 (事務所)

【題材募集のお知らせ】

広報委員会では広報誌の題材を募集しております。載せてほしい題材のご希望がありましたら、広報委員までお願いします。

【広報委員会より】

広報委員会では、年4回広報誌を発行しています。当院のことをもっと皆様を知っていただきたいという思いで作成しています。多くの方々手に取って見ていただけたら幸いです。次号もご期待ください。

～職員を募集しています～

看護師・作業療法士
・精神保健福祉士・看護補助

私たちと楽しく働きませんか？
 御一報お待ちしております。

TEL 0997-28-3331 せいざん病院 事務所 上妻まで

訪問看護もしています

Tanegashima

Hospitality

Woody



医療法人 純青会

カウンセリング
もしています

せいざん病院

診療内容

★精神科 ★心療内科 ★内科



診療案内

| | | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------|----|----|---|---|---|---|---|---|
| 精神科・心療内科 | 午前 | 再診 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| | | 初診 | × | × | × | × | × | × |
| 心療内科 | 午後 | 再診 | ○ | ○ | × | × | ○ | × |
| | | 初診 | × | ○ | × | ○ | ○ | × |
| 内科 | 午前 | | ○ | ○ | × | × | × | × |
| | 午後 | | × | × | × | ○ | ○ | × |

※土曜日（精神科）の午前中は月1回となります

〒891-3104 鹿児島県西之表市住吉3363-2

ご連絡はこちらまで **TEL 0997-28-3331**

Email: info@seizan-hospital.jp

URL : <http://seizan-hospital.jp>

「せいざん病院」で検索



鹿児島県指定

せいざん病院 認知症疾患医療センター

専門医療相談電話 : **0997-28-3771**

検査体制連携病院

受付時間 : 月～金(祝・祭日・年末年始・盆を除く)

・種子島医療センター ・鹿児島大学病院

午前9:00～12:00 / 午後1:00～5:00

認知症についてひとりで悩まず専門スタッフにお気軽にご相談下さい。